季刊誌 vol⑥
2025.9 発行

KURUME CITY PLAZA

久留米シティプラザは来年10周年！

はじめての能『巴』～Now, Know Noh!～

2025 Autumn

想像してみる

久留米シティプラザは、伝統芸能や演劇などの上演を通して、情景を思い描いたり、
他者の感情に気づいたり、感性や思考力を育む事業に取り組んでいます。

音声コード
Uni-Voice

撮影：鷲頭雅秀

11.9sun

心情や景色を頭の中に投影し、“間”を味わい余韻に浸る

ろうそく能『葵上』

源氏物語の「葵の巻」を題材とし、光源氏の正妻・葵上に激しい嫉妬心をぶつける六条御息所の生霊がシテ（主人公）の物語。葵上は登場せず、舞台上に置かれた一枚の小袖が病に伏せる姿を表します。限られた言葉、道具、動きから登場人物の心の動きに思いを巡らせながら能の世界を堪能しませんか。

開演 14:00　**会場** 久留米座

料金 〈全席指定〉 一般：3,500円
学生：1,000円
※未就学児入場不可

チケット発売 一般発売　9月20日(土) 10:00～

Check

木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎 主宰）による解説、アフタートーク付き

上演前に伝統芸能や古典に見識が深い木ノ下裕一が、わかりやすく演目を解説。終演後はシテを勤める多久島法子とアフタートークを繰り広げ、『葵上』を丁寧に掘り下げます。

2024年度アフタートークの様子

『葵上』のみどころ

ろうそく能は薄暗くて見えるもの自体が少ないので、観る側の神経が研ぎ澄まされます。情念や恨み、恋の苦しさが強調されがちな六条御息所ですが、本当にそういう女性なのか。様々な苦しみや悲しみを背負った“生”の姿に迫ります。

木ノ下裕一
（木ノ下歌舞伎 主宰）

六条御息所は気品も教養もあるけど、思いを素直に出せない不器用な人。なぜ彼女が生霊になったのか。前半の募らせていく気持ちに重きを置きながら、修験者との戦いでは般若になりつつも気高さを失わず葛藤している部分を演じたいです。

多久島法子
シテ
［六条御息所の生霊］

インタビューの全文はこちら➡ Check

12.14sun

言葉がないからこそ自由な想像が膨らむお芝居

キッズプログラム2025 カンパニーデラシネラ『はだかの王様』

パントマイムをベースに独自の手法で創作を行うカンパニーデラシネラが、童話「はだかの王様」を身体表現のみでお届けします。舞台上から手招きをして子どもたちを誘ったり、客席で飛び跳ねたり。観客をまきこんだ演出は驚きの連続！上演中は声が出ちゃっても大丈夫。大人と子どもが一緒に楽しめる65分。

演出 小野寺 修二

開演 13:00

会場 久留米座

料金 〈全席指定〉
おとな：2,000円
こども（3歳～中学生）：1,000円
おとな・こどもペア券：2,500円（前売券のみ）
※2歳以下の膝上鑑賞は無料（保護者1名につき子ども1名まで）

チケット発売 一般発売　10月11日(土) 10:00～

Check

ステージで触れてみよう & パントマイムミニワークショップ

カンパニーデラシネラによる解説のもと、舞台セットや小道具を間近に見たり、触ったりすることができます。
マイム体験も有り。

時間：終演後14:20～15:00
対象：「はだかの王様」鑑賞者
料金：無料（要申込）

『はだかの王様』（2021年初演 高知県立美術館）　撮影：釣井泰輔

過去のたまがる大道芸の様子

11.15sat・16sun

驚きと感動！久留米のまちが異世界に変わる!?

第10回 久留米たまがる大道芸2025

カッパの妖怪や長い衣を羽ばたかせ優雅に舞う精霊が次元を超えて久留米にタイムスリップ！一流の大道芸人たちが繰り広げるパントマイムや中国雑技、サーカスなど想像を超える驚愕のパフォーマンスは必見です。まちなかで同時多発的に開催しているので歩き回りながら楽しんで。

時間 15日(土) 14:00～19:00（夜会18:30～19:00）
16日(日) 10:30～15:30

固定会場 久留米シティプラザ六角堂広場、東町公園、西鉄久留米駅東口、一番街ANNEアネックスイベントスペース、西鉄久留米駅前商店街

パレード会場 久留米ほとめき通り商店街　**料金** 無料

Check

市民ボランティアスタッフを募集

対象
- 11月15日(土)、16日(日)のうち1日または2日間とも所定の時間に従事できる方
- 高校生以上
- 事前説明会に参加できる方

ろうそく能

本公演は、舞台の周囲に多数の燭台を置いて和ろうそくを立て、炎が揺らめく灯かりの中で上演。ろうそくに照らされた面は独特の陰影を帯びて表情を際立たせ、闇の中に浮かび上がる演者の動きと相まって神秘的な雰囲気を演出します。

音声コード
Uni-Voice

関連企画 ジャグリング体験

どなたでも参加OK！
さまざまな種類のジャグリングが体験できます。

日程 大道芸開催中

場所 東町公園　**料金** 無料

協力 九州工業大学ジャグリングクラブ「Pirouette（ピルエット）」

音声コード
Uni-Voice

自主事業 Pick up
＼ピックアップ／

妊娠を機にすれ違うカップルを描き、現代社会の性役割や常識を問う

「知る/みる/考える　私たちの劇場シリーズ」vol.8
贅沢貧乏『わかろうとはおもっているけど』

2022年にパリで上演し好評を博した本作が、劇団初の九州公演として久留米に上陸。“どこにでもいるような普通のカップル”を描き、ちょっぴり噛み合わない日常の会話から「男女の性差」が浮かび上がります。自分とは異なる他者とのわかりあえなさをわかりあおうとした先にあるものとは。

贅沢貧乏『わかろうとはおもっているけど』（2019年初演）

12.6 sat・7 sun

Check

作・演出　山田 由梨

時 間　6日㊏18:00、7日㊐13:30　　会 場　Cボックス

料 金　〈全席自由〉
一般：3,500円、U25（25歳以下）：2,000円
高校生以下：1,000円　※未就学児入場不可

チケット発売　一般発売　9月21日㊐ 10:00～

久留米シティプラザにて開催
関連事業

① **プレレクチャー『劇場で考える～わかりあうこととは～』**
演劇鑑賞を前に作品の背景を考えるトークイベント。
日 時　10月19日㊐ 14:30～16:00

② **ユースプログラム2025『新しい演劇鑑賞教室』（後期）**
若者層を対象に、作品の鑑賞と参加者同士の対話などを組み合わせたプログラム。
日 程　10月19日㊐、12月7日㊐〈全2回〉

③ **シアターカフェ**
鑑賞者を対象に、鑑賞を経て思ったこと、考えたことをシェアします。
日 時　12月7日㊐ 終演後　※1時間30分程度

久留米女性週間記念事業「くるめフォーラム2025」に作・演出の山田由梨が登場

トークイベント
男女の性差の根源とは?～演劇『わかろうとはおもっているけど』を通して考えるフェミニズム～

西日本新聞記者 川口史帆を聞き手に、作品映像に触れながらジェンダーや性役割について考えます。

10.4 sat

時 間　16:30～18:00　　会 場　えーるピアク久留米 301・302学習室

料 金　無料（申込優先・先着順／当日参加可）　　締 切　9月27日㊏必着

＼申込フォーム／
Check

〈主催〉久留米女性週間記念事業実行委員会・久留米市

山田 由梨
（作家・演出家）

表紙のウラガワ 公演レポート

2.1 sat　はじめての能『巴』～Now, Know Noh!～

上演を前に、木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎 主宰）が初めて能を鑑賞する方へ「余白を楽しみましょう。能は抽象舞台で小道具があまりないので登場人物の気持ちを想像しながら観るとイメージしやすいですよ。」とアドバイス。終演後は、巴を演じた多久島法子も加わりアフタートークを開催。巴の心情を強調する特別な演出や演じる上でこだわった所など貴重な話に観客は聞き入っていました。

感想　解説、能、アフタートークというスタイルはとても面白い！たくさん、なるほどがありました。心で観る能の素晴らしさを感じました。

久留米シティプラザ

〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1
TEL／0942-36-3000　FAX／0942-36-3087
E-MAIL／plaza@city.kurume.lg.jp

［アクセス］
西鉄久留米駅から ▶タクシー約4分、路線バス約5分、徒歩約10分
JR久留米駅から ▶タクシー約7分、路線バス約10分、徒歩約20分

音声コード
Uni-Voice

SNS　誌面だけではお伝えしきれない情報を各SNSでお届け！
久留米シティプラザ　検索　kurumecityplaza.jp ▶▶